

# 平成30年火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

## 火災概要

平成30年の総出火件数は16件で、前年に比べ3件の増加となりました。  
 火災種別でみると、建物火災が11件、車両火災が5件でした。  
 建物火災のうち住宅（専用住宅、共同住宅及び併用住宅）は3件で、前年に比べ2件の減少となりました。  
 また、火災による死傷者は発生していません。  
 出火原因別にみると、「たばこ」2件、「放火（放火の疑い含む）」2件、「電灯・電話等の配線」2件が主な原因となっています。  
 損害額については14,086千円で、前年より3,838千円増加しています。

区分		年	平成30年	平成29年	増減
火災件数	合計		16	13	3
	建物火災		11(住宅3)	8(住宅5)	3
	林野火災				
	車両火災		5	4	1
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災			1	▲ 1
焼損棟数			13	10	3
り災世帯数			3	5	▲ 2
面焼積損	建物床面積（㎡）		239	484	▲ 245
	建物表面積（㎡）		7	1	6
	林野（a）				
損害額（千円）別	合計		14,086	10,248	3,838
	建物		13,286	9,327	3,959
	車両		800	917	▲ 117
	航空機				
	その他			4	▲ 4
死者数				2	▲ 2
負傷者数				1	▲ 1
火災発生間隔日数（日）			22.8	28.1	▲ 5.3
焼火損元程度建物	全焼		1	4	▲ 3
	半焼		3	1	2
	部分焼		4		4
	ぼや		3	3	
爆発					
火災原因	たばこ		2	4	▲ 2
	放火・放火の疑い		2	2	
	電灯・電話等の配線		2	1	1
	炉		1		1
	上記以外		9	6	3
住宅用火災警報器設置件数（ ）は住宅火災件数			2(3)	0(5)	

## 救急概要

平成30年の救急出動件数は4,040件で、前年に比べ116件増加し過去最多の出動件数となりました。

1日平均すると11件を超え、10年前に比べ約30%の増加となっています。

搬送人員も前年より144人増加の3,859人となり、小松市民の約28人に1人が搬送されたこととなります。全体の搬送者のうち、約62%が高齢者となっています。

区分		年	平成30年	平成29年	増減
救急出動件数	合計		4,040	3,924	116
	急病		2,536	2,461	75
	交通事故		372	410	▲ 38
	一般負傷		643	575	68
	転院搬送		361	336	25
	上記以外		128	142	▲ 14
救急搬送人員	合計		3,859	3,715	144
	急病		2,415	2,317	98
	交通事故		372	413	▲ 41
	一般負傷		618	551	67
	転院搬送		360	335	25
	上記以外		94	99	▲ 5
別傷病搬送者 人員年齢	高齢者		2,396	2,275	121
	成人		1,151	1,122	29
	少年		148	147	1
	乳幼児		163	171	▲ 8
	新生児		1		1
搬送程度 人員別	死亡		105	101	4
	重症		550	482	68
	中等症		1,433	1,382	51
	軽症		1,771	1,748	23
	その他			2	▲ 2

## 救助概要

平成30年の救助出動件数は50件で、前年に比べ7件減少しています。

出動件数のうち、救助活動件数は23件、救助人員は23人となりました。

内訳として、交通事故による出動が31件で約6割と、最も多くを占めています。

区分		年	平成30年	平成29年	増減
出動件数			50	57	▲ 7
活動件数			23	34	▲ 11
救助人員			23	38	▲ 15